

TGS2022 新型コロナ対策

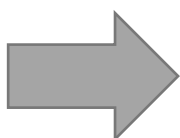
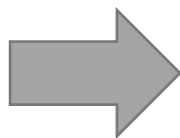
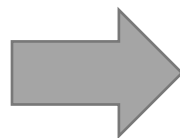
ブース内ステージに関する規定改定について
2022.4.01

TGS2019までのルール

①ブース内の滞留人数に具体的な制限はなし

②ブース内ステージは「来場者臨時整理エリア」からも観覧可能

③ブース内ステージ前の観覧エリアおよび来場者整理エリアが満員になったら、ローピングを実施し、一般通路に人が滞留しないように流す



TGS2022のルール

①ブース内および来場者臨時整理エリアにおいて1㎡あたり1人以下の密度になるように設計・運営してください

②ブース内ステージ前の「来場者臨時整理エリア」については使用不可

③ブース内ステージ前の観覧エリアが満員になったら、遮蔽幕等で通路からステージが見えなくなるようにし、人が滞留しないように流す

基本原則

自社ブース内に滞留する人数
(スタッフ数 + 来場者数) = 1平方メートルあたり1人以下

● 試遊体験ブースの場合

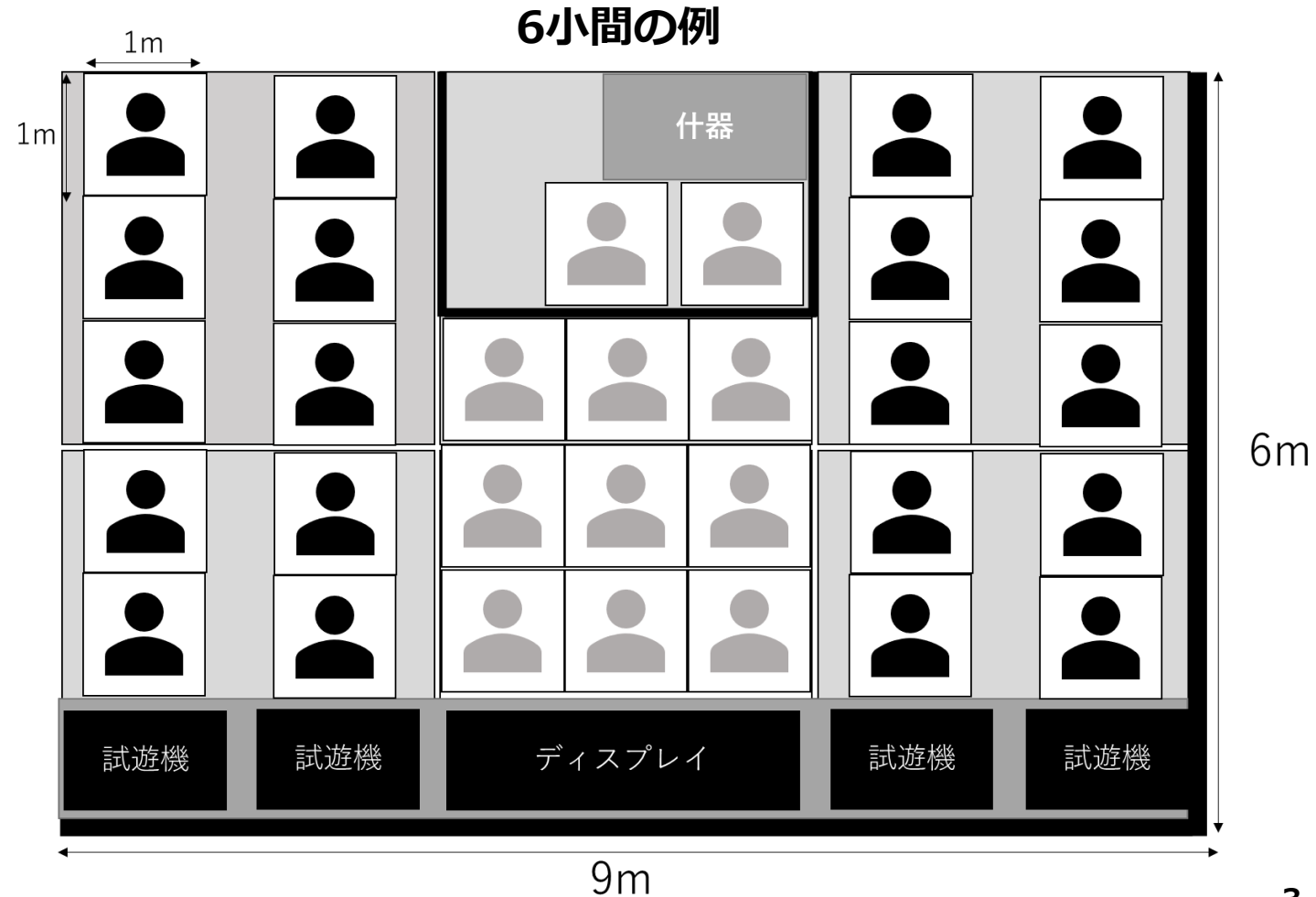
自社ブース内に滞留する人数
(スタッフ数 + 来場者数) は、
1平方メートルあたり1人以下
になるようにブース全体を設計してください。

例えば、右図の6小間の場合、

- ① 1台の試遊機の列に最大5人×4列
- ② ディスプレイの前に9人の観覧エリア
- ③ 受付台の前のスタッフ 2人

合計① + ② + ③ = **31人**

が滞留できる人数としてカウントする。
それ以上の人々がブース内に滞留しないように運営する。

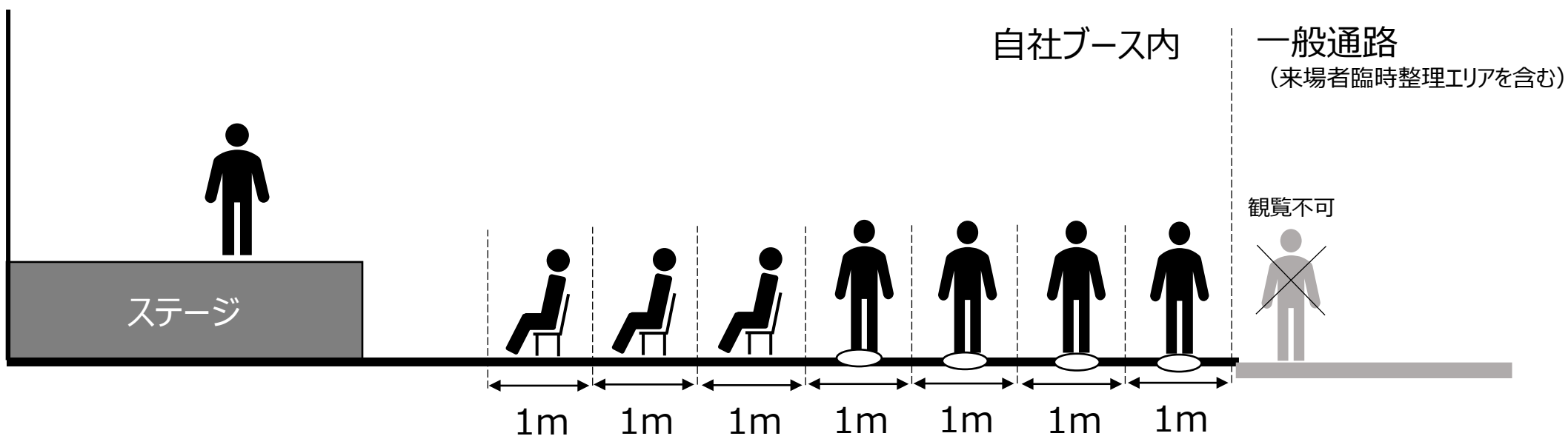


基本原則

自社ブース内に滞留する人数 = 1平方メートルあたり1人以下
(スタッフ数 + 来場者数)

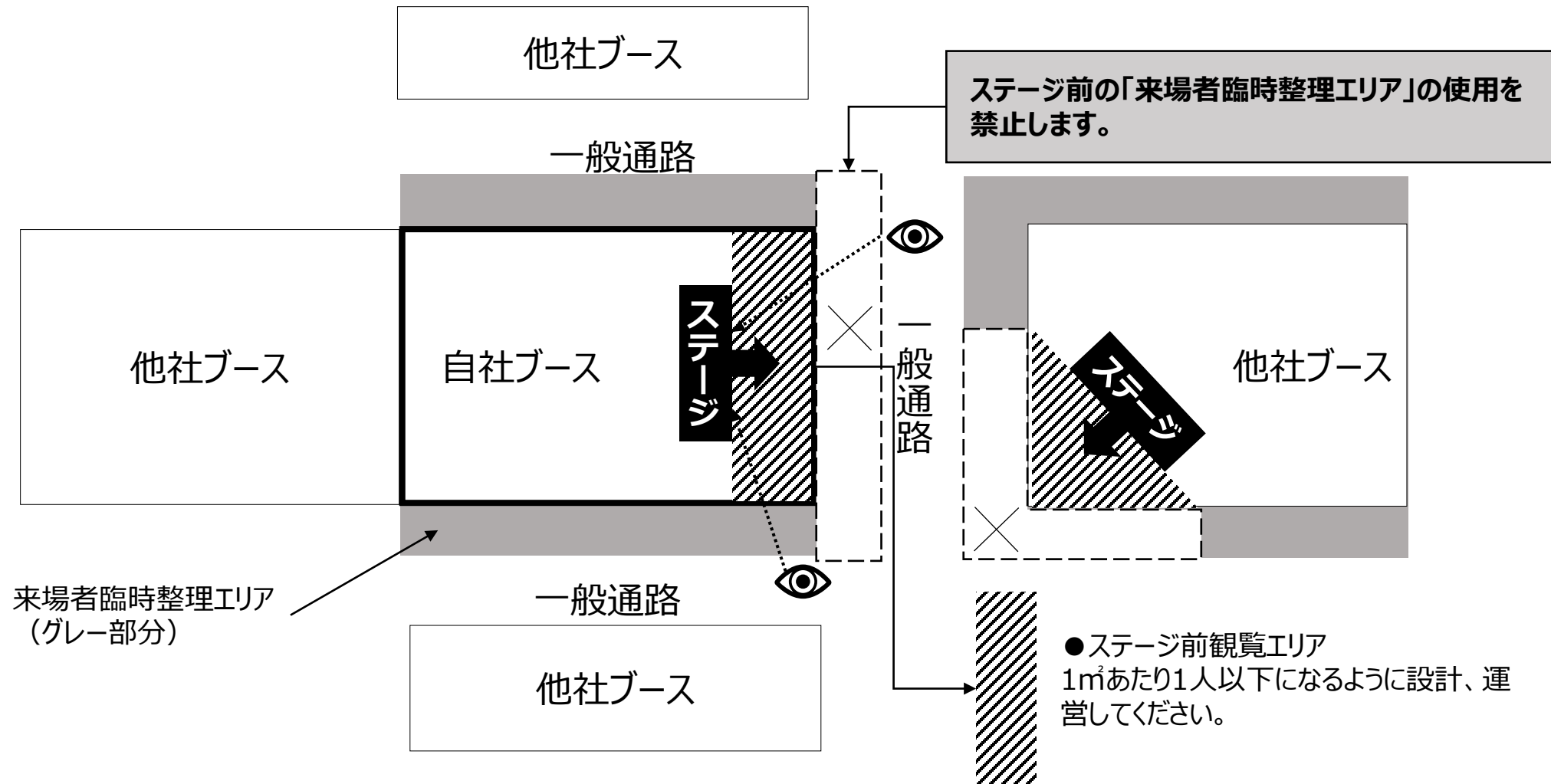
●ブース内ステージを設置した場合

ブース内にステージを設ける場合、自社ブース内の観覧エリアの人数制限（満員）も、
1㎡あたり1人以下になるように設計し、制限数を超えないように視覚的に分かりやすい装飾を心がけてください。
(例えば、イスを置いたり、立ち位置の床面をマーキングするなど)
ブース内ステージ設置時には設計図とともに運営マニュアルなども提出いただきます。



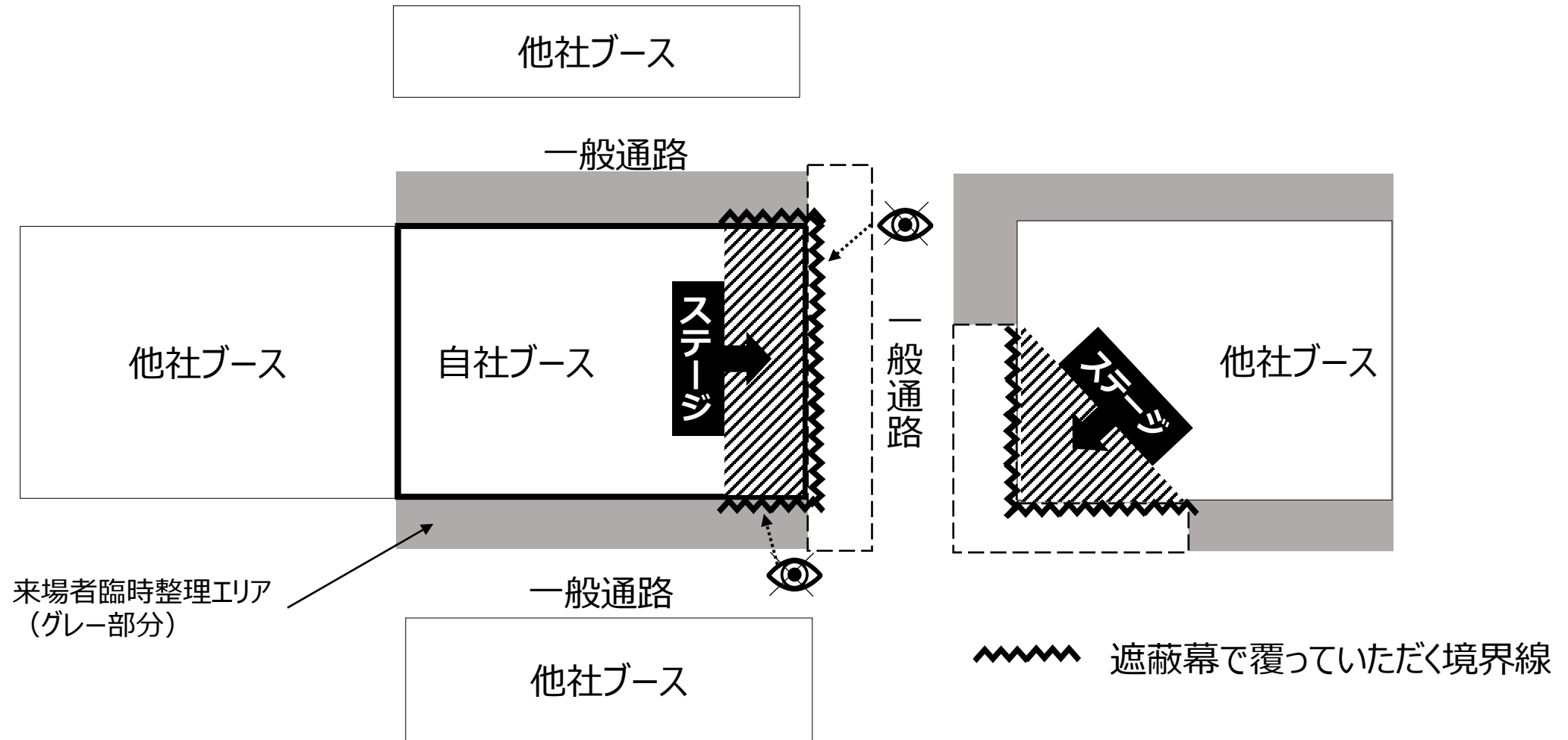
（新型コロナ対策） 自社ブース内ステージを設置した場合、来場者臨時整理エリアは使用不可

TGS2022では、新型コロナ対策の一環として、出展社ブース内でステージ（床面より高い台）を設置して、各種イベント（トーク、コンサート、映像鑑賞など）を開催する際、ステージ前の観覧エリアが通常時（満席になっていない状態）であっても、ステージ前の「来場者臨時整理エリア（※P.9）」は使用できません。



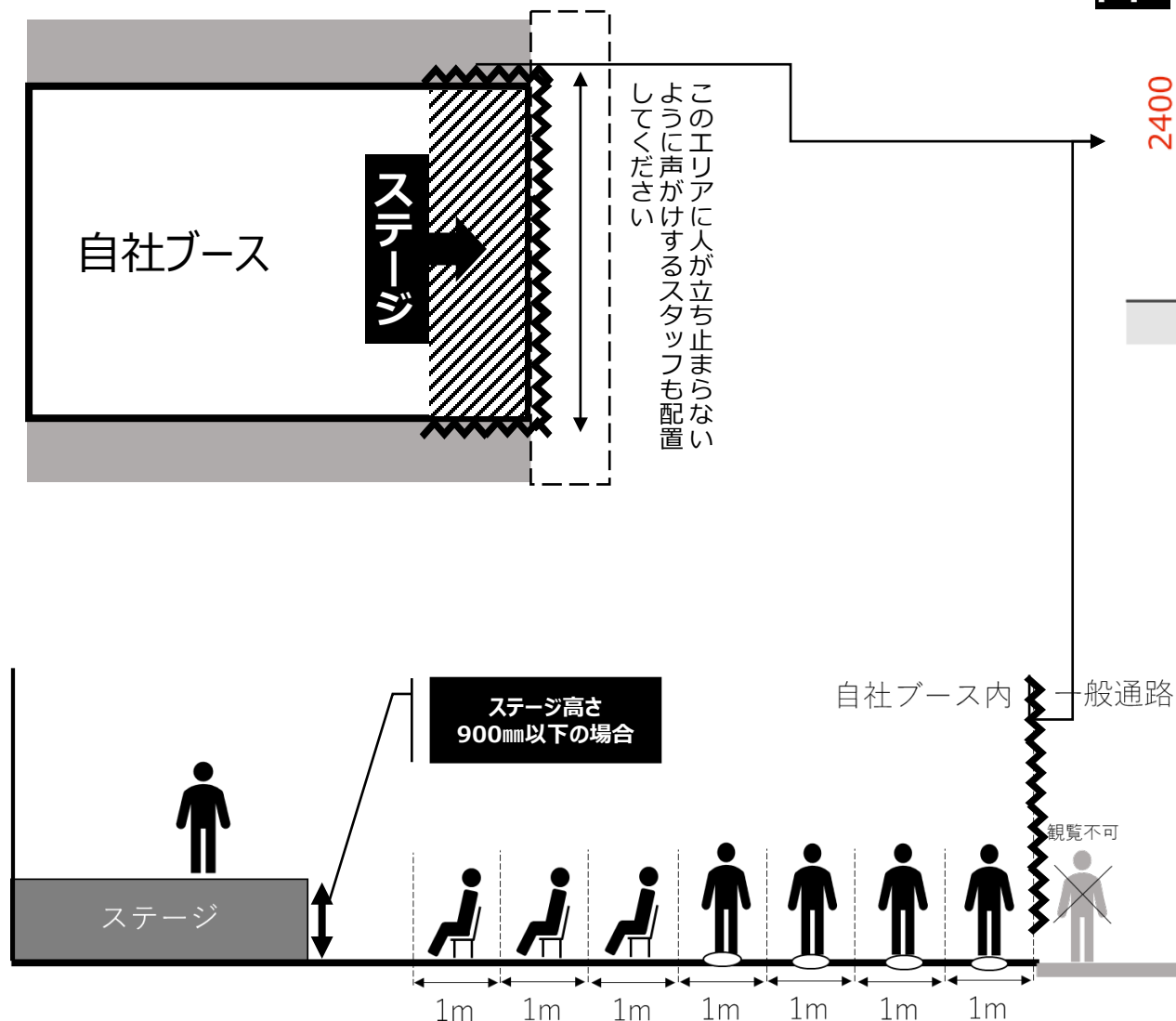
(新型コロナ対策) ステージ前観覧エリアが満員になった場合は、クローズドステージに転換してください

ステージ前観覧エリアが満員になった場合は、ステージの演目が一般通路にいる来場者から見えなくなるように、**遮蔽幕（詳細はP.7-8）**などで覆って、クローズドステージと同じ状況に転換してください。



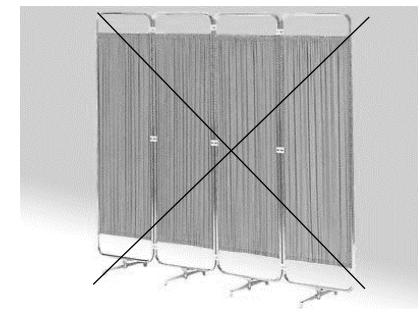
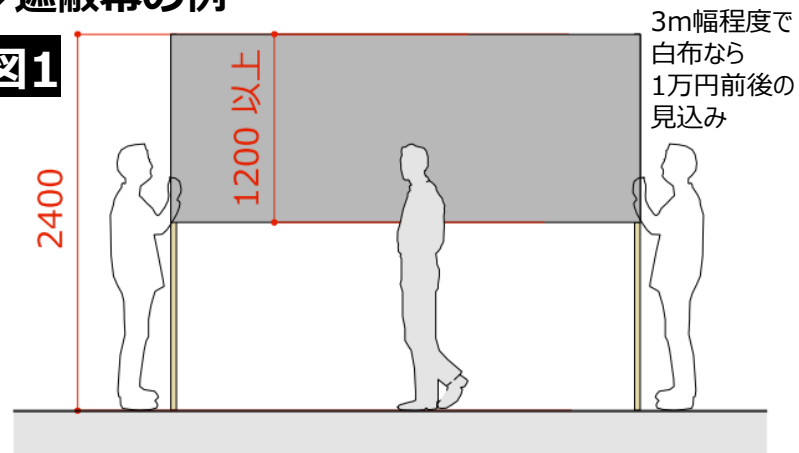
(新型コロナ対策) 遮蔽幕の仕様は、ステージの高さに応じて変化します

◆遮蔽幕について（ステージ高900mm以下の場合）



◆遮蔽幕の例

図1



自立式三つ折りパーティションなどは転倒の危険性があるため、使用は禁止します。

ステージ高900mm以下の場合、ブース境界線上に設置する「遮蔽幕」として

- ・構造物から降ろすカーテン
 - ・躯体壁
 - ・棒に白布のような布を張った遮蔽幕
- などを事前に準備してください。

※三つ折りパーティションなどは転倒する危険性があるため使用を禁止します。

図1のように最低でも高さ2400mmから、下方方向に1200mm以上をカバーするような遮蔽幕を用意して、ブース境界線を囲うようにして、すべてのステージ観覧エリア外からステージが見えないようにしてください。

(新型コロナ対策) 遮蔽幕の仕様は、ステージの高さに応じて変化します

◆遮蔽幕について（ステージ高900mm超の場合）

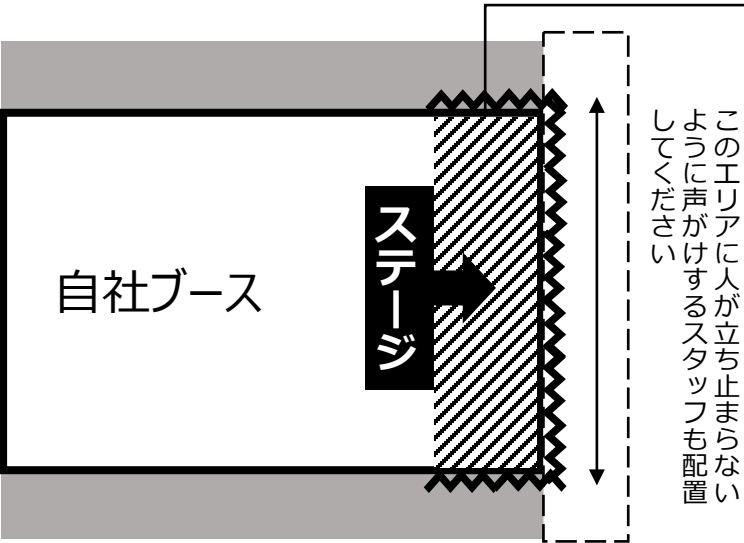
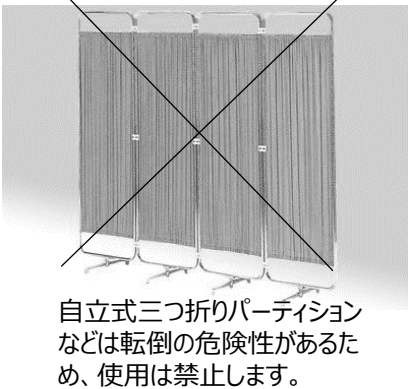
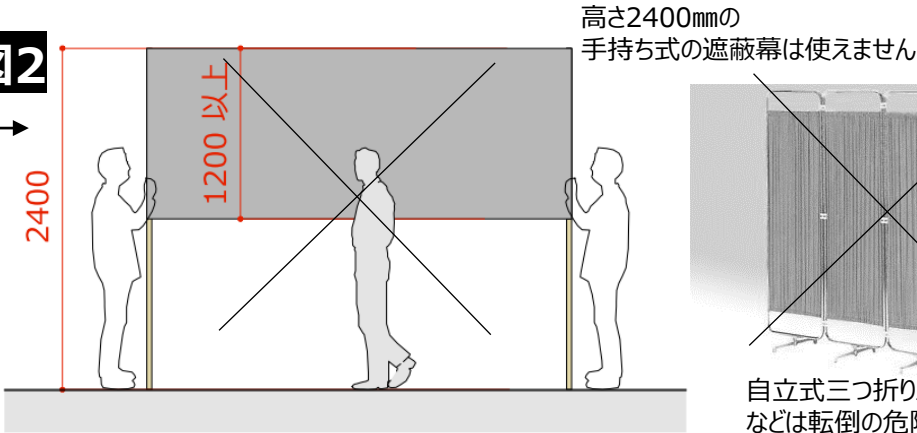


図2



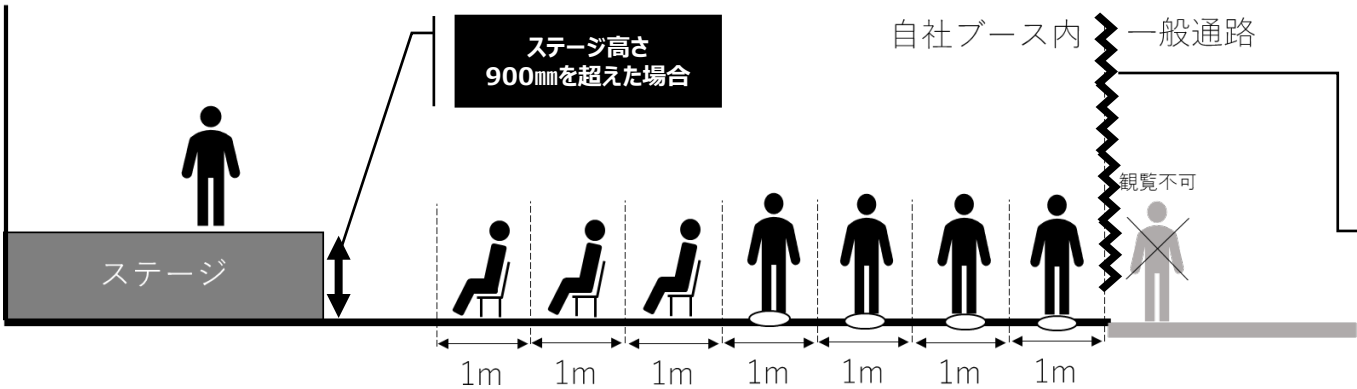
ステージ高さが900mmを超えている場合、

- ・構造物から降ろすカーテン
- ・構造物や壁

などで、一般通路から見えなくなるような装飾をあらかじめ設計してください。

※三つ折りパーティションなどは転倒する危険性があるため使用を禁止します。

図2にある高さ2400mmの手持ち式遮蔽幕では、高さが足りず視線を隠すことができなくなるので使用はできません。

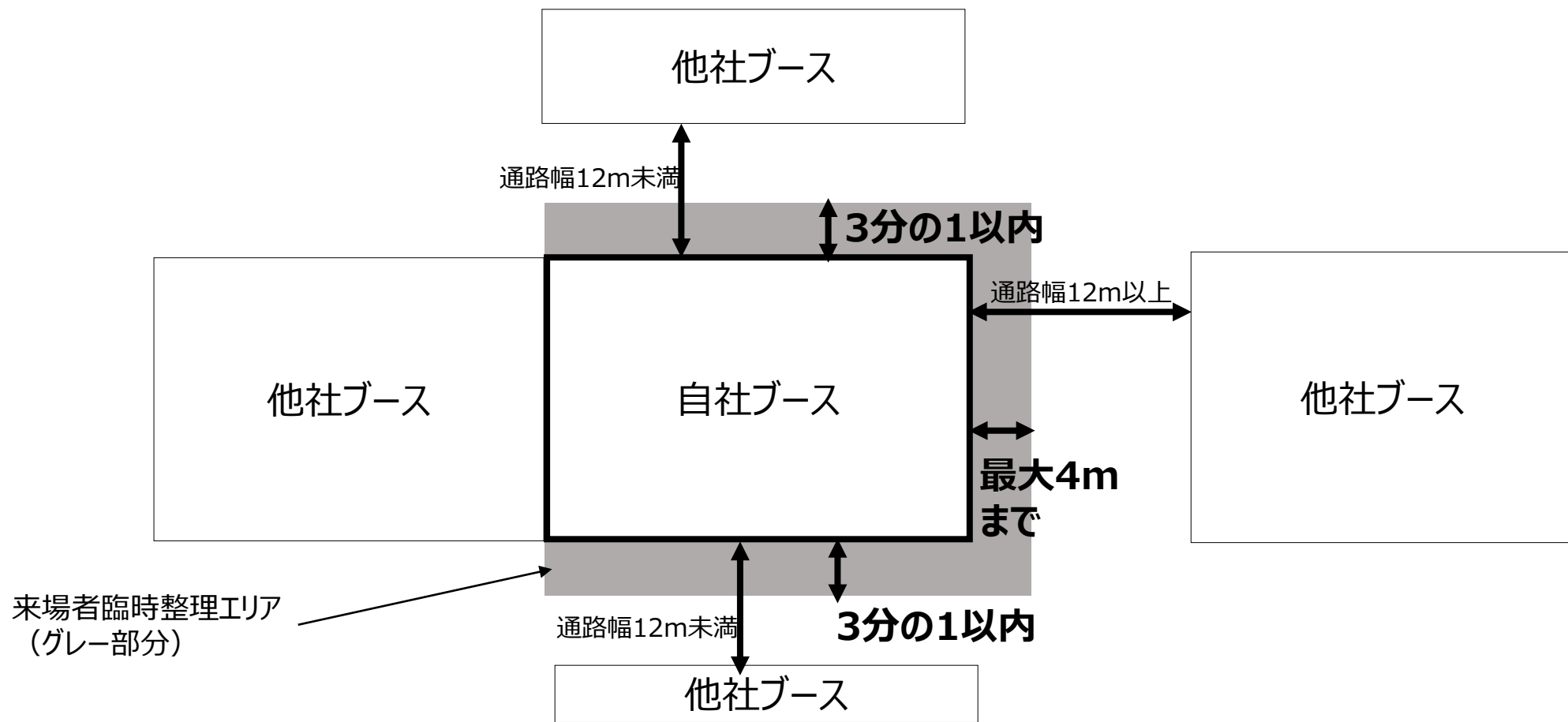


A) ステージのセットバック規定は、2019年時点と同様です。

※特例規定、例外規定にも変更ありません。

出展小間数	規定距離
1～20小間	通路から2m以内は設置禁止
21～39小間	通路から4m以内は設置禁止
40小間以上	通路から6m以内は設置禁止

B) 基本的な「来場者臨時整理エリア」の利用範囲は、ブース内ステージ前を除き2019年時点と同様です。



対応方法、実際の運営時に関するQAを掲載しております。

※更に詳細な手法、規定については出展社説明会（7月6日予定）で配布予定の出展要項に記載します。

●人が溜まってきたときの対応は出展社と主催者のどちら？

⇒

出展社主導となります。ステージ前に実際に入場できる人数を事前に算出し、規定人数を超えそうになった場合、各社でご対応ください。

●対応していても溢れてしまう、もしくはステージ前に人が溜まっている場合の対応を教えてください。

⇒

遮蔽幕等の対策を実施しても人が流れない場合においては、ブース前にスタッフを配置し（2m間隔で）ブース前に溜まらないよう、声掛けを実施してください。

●遮蔽幕でステージをクローズドにしても、ステージが見える場所に人が溜まった場合の対応

⇒

どの場所にステージが見える部分ができるかは事務局、出展社ともに予測できない可能性があります。ステージの演出の有無に関係なく、人だかりができている場合は事務局スタッフで混雑解消を実施します。

●そもそもルールを守ってない出展社がいた場合

⇒

CESAおよび事務局が危険・運営困難と判断した場合は、中止勧告をします。すみやかに事務局の指示に従い、イベントやステージ、配布、販売などを中止し、来場者を解散させてください。